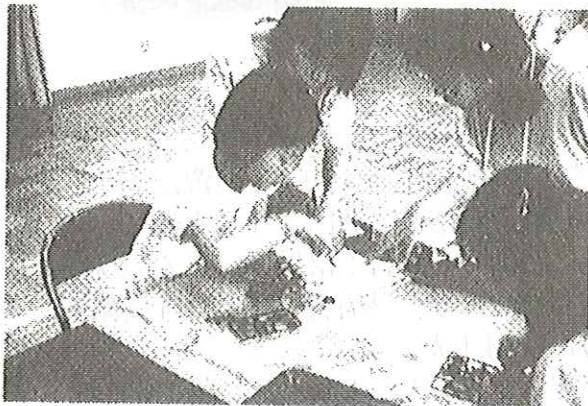


## サークル(クラブ) 紹介の巻

### ※おもしろ科学クラブ(熊毛町青少年科学教室)※

おもしろ科学クラブは、平成10年度青少年の学校外活動促進の一環として熊毛町教育委員会の助言のもとに誕生し、青少年の学校外活動促進委員会(山口県教育委員会徳山教育事務所)のモデル



サークルとして指定を受け高い評価を戴きました。

おもしろ科学クラブ活動は、青少年に科学技術に対する理解を深め、夢と希望を与え、科学技術創造立国を目指す物作り国民を提唱する国の方針とマッチしています。

今年で4年目にはいりました、この全国でも珍しい熊毛町の「おもしろ科学クラブ」を町民活動として根づかせたいと思いますので多くの方の参



加を望んでおります。

「みつけてごらん、さわってごらん、となりに科学がいるよ！」

あそびや、おもちゃ作り、化学や物理実験、物作りを楽しみながら、身近な現象に科学を発見する喜びをあげあわせ、また小学生、中学生、高校生・成人ボランティアの異年齢集団のグループ活動による核家族には無い人間関係を模索しています。

おもしろ科学クラブ 代表 幸ヶ丘中 安東三郎  
【写真は、6月9日開催の「やさしいロボット(原動機部分)製作風景と身近な物で酸素を作る実験風景です。】



◎ 新会員募集(理科の好きな人) またクラブを支えるボランティア(子どもの好きな男女)を募集します。詳しくは勝間ふれあいセンターまで、ご連絡ください。

おもしろ科学クラブ平成13年度予定表(既に2回開催)		場所: 勝間ふれあいセンター 他
7月14日	歩行ロボットの製作 その2(歩行メカの製作)	材料費: 800円
8月11日	夏休み科学工作製作会(2・3のテーマを準備)	
9月22日	ロケットの科学(ロケット製作と打ち上げ)	場所: 三丘徳修館 他 概算材料費: 900円
10月27日	楽しい陶芸 その1(造形 さや豆のはし置き 2個)	概算材料費: 800円
11月10日	① 楽しい陶芸 その2(絵付け、焼成) ② 台所の化学(二酸化炭素を取り出そう!: 実験)	概算材料費: 800円
2月9日	① 炭焼きの科学(竹炭を焼く) ② 焼き芋会(炭焼きで焼いて食べよう!)	概算燃料費: 800円 場所: 三丘徳修館 他

## 勝間ふれあいセンター関係行事報告

### その ① 勝間ふれあいセンター学級

5月15日(火) 勝間女性学級・高齢者学級 開講式終了後、『美しいまちづくり』ということで、勝間ふれあいセンターのツツジの間の除草作業を学級生 41名により行いました。

いきなりの奉仕活動に戸惑う方もなく、「ケガをしないよう注意してください」との呼びかけのもと、参加者皆さんの集中力により無事除草作業を終えることができました。学級生の皆様大変お疲れさまでした。

おかげ様でみちがえる様にきれいになりました。今後ともよろしくお願ひします。



### その ② 熊毛町IT講習会

勝間ふれあいセンターに於いて、熊毛町IT講習会(初心者入門講座)を、3回開催(総参加者26名)しました。

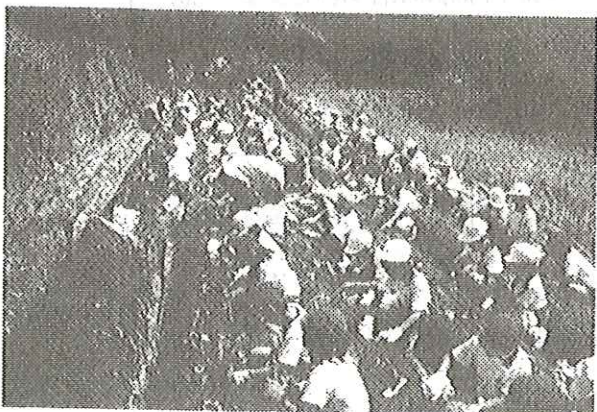
写真は、3回目【5月19日~20日:12時間コース】の講習風景ですが、参加された方一人一人が熱心にパソコン講習に取り組む姿には、驚かされました。

「これを機会にパソコンを購入しよう!」と考えられた人や、「パソコンは持っているのに、インターネットに接続して、メールを実際に送ってみよう…」と講習会后、それぞれの思いは膨らんでいたようです。

### その ③ ♪今年も熱く・楽しく踊ったよ!!

5月26日(土) 勝間小学校体育館で、今年で17回目を迎える「三世代交流ふれあいフォークダンスの集い」を開催しました。熱心な関係者・来賓の参加のもと今年も、土曜日の開催と言うことで、児童クラブの子ども達やスポーツ少年団の子ども達の参加もあり、皆さん熱く汗びっしょりになり軽快なステップを楽しまれました。最初はとまどっていた子ども達も後半は、おおはしゃぎ!みんなて輪になり世代を越えて楽しいひとときを過ごしました。参加者の皆様ありがとうございました。

※ 山口県フォークダンス連盟 八木正義 会長より「継続して三世代交流フォークダンスの集いを開催しているのは日本で唯一、熊毛町勝間しかない。素晴らしいことです。」とあいさつがありました。



### その ④ †さつまいもの苗植え体験学習†

6月2日(土) 熊毛町生涯学習のまちづくり勝間地区推進協議会の管理する『勝間ふれあい農園』で、今年も、勝間小学校2年生(89名)が、勝間上の内山のおばあちゃん、井生さん(生涯学習企画推進委員)の指導のもと、さつまいもの苗植え(400本)を体験しました。

かわいい手で、一生懸命 苗を植えました。指導がよかったのか? 児童たちが熱心だったのか? 400本の苗もあっという間に植え終わり、児童たちは、秋の収穫「いもほり大会」を楽しみに畑を後にしました。

「内山のおばあちゃん、井生さん、ありがとう、お世話になりました。」と児童たちの言葉と笑顔には、2人とも感激しておられました。畑の準備たいへんご苦労様でした。